



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年7月29日

上場会社名 株式会社ベネフィット・ワン
コード番号 2412

上場取引所 東

URL <http://www.benefit-one.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 徳生
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小山 茂和
経営管理部長

TEL (03) 6892-5204

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績 (平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,428	0.7	367	19.0	371	19.8	213	27.5
23年3月期第1四半期	3,404	—	309	—	310	—	167	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	970 10	969 08
23年3月期第1四半期	761 18	759 72

(注) 23年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については、平成23年3月期第1四半期より連結財務諸表非作成会社となったため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	11,241	8,377	74.5
23年3月期	12,409	8,711	70.2

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 8,377百万円 23年3月期 8,711百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2,500.00	2,500.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	2,500.00	2,500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,123	0.8	611	△10.0	605	△11.9	342	△13.5	1,553.36
通期	15,652	6.5	2,657	17.2	2,650	13.1	1,564	15.9	7,101.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期1Q	225,080株	23年3月期	225,080株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	4,800株	23年3月期	4,800株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期1Q	220,280株	23年3月期1Q	220,140株
----------	----------	----------	----------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 継続企業の前提に関する注記	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間のわが国経済は、東日本大震災の影響で依然として厳しい状況にあります。サプライチェーンの立て直しが進み、生産活動も徐々に回復しつつあります。

このような経済状況の下、当社は、民間企業、官公庁に福利厚生のアウトソーシングに関する提案営業を積極的に推進しております。また、福利厚生サービスについて宿泊、スポーツ、育児、介護などのメニューを拡充し、優れたワークライフ・バランスを実現するよう努めております。

加えて、企業顧客満足度向上のためのサービス「カスタマー・リレーションシップ・マネジメント(CRM)事業」において、企業の顧客から直接収入を得る「パーソナル事業」に注力すると共に、報奨金等をポイント化して管理・運営する「インセンティブ事業」など新規事業の拡大にも取り組んで参りました。

こうした取組みの結果、当第1四半期累計期間の売上高は3,428百万円(前年同四半期比0.7%増)、営業利益は367百万円(前年同四半期比19.0%増)、経常利益は371百万円(前年同四半期比19.8%増)、四半期純利益は213百万円(前年同四半期比27.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は前事業年度末に比して1,167百万円減少し、11,241百万円となりました。

流動資産は、1,084百万円減少し7,887百万円となり、これは主に、現金及び預金の減少648百万円、売掛金の減少319百万円、ガイドブック等たな卸資産の減少100百万円によるものであります。

また、固定資産は、83百万円減少し、3,354百万円となりました。これは主に、減価償却による無形固定資産の減少65百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は前事業年度末に比して834百万円減少し、2,864百万円となりました。

流動負債は、855百万円減少し2,685百万円となり、これは主にガイドブック制作費等買掛金の減少866百万円によるものであります。

また、固定負債は、21百万円増加し、178百万円となり、これは主にポイント引当金の増加14百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は前事業年度末に比して333百万円減少し、8,377百万円となりました。これは主に、当第1四半期累計期間における四半期純利益213百万円、配当金550百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の70.2%から74.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前事業年度末に比して648百万円減少し、5,133百万円となりました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因を以下に記載します。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、62百万円の減少(前年同四半期は107百万円の減少)となりました。

資金増加の主な内訳は、税引前四半期純利益371百万円、減価償却費128百万円、売上債権の減少319百万円、たな卸資産の減少100百万円等によるものであります。

資金減少の主な内訳は、仕入債務の減少866百万円、法人税等の支払539百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、76百万円の減少(前年同四半期は119百万円の増加)となりました。

資金減少の主な内訳は、ソフトウェア等の無形固定資産の取得74百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、509百万円の減少(前年同四半期は507百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払502百万円があったこと等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期累計期間の業績につきましては、概ね順調に推移しており、平成23年5月9日発表時の平成24年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想と変更はございません。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,579	4,930
受取手形及び売掛金	2,301	1,981
有価証券	202	202
たな卸資産	231	131
その他	668	650
貸倒引当金	△13	△11
流動資産合計	8,971	7,887
固定資産		
有形固定資産	1,554	1,538
無形固定資産	1,051	985
投資その他の資産		
その他	833	830
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	832	830
固定資産合計	3,438	3,354
資産合計	12,409	11,241
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,586	719
未払法人税等	554	131
その他	1,401	1,833
流動負債合計	3,541	2,685
固定負債		
ポイント引当金	53	67
その他	103	110
固定負債合計	156	178
負債合計	3,698	2,864
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,516	1,516
資本剰余金	1,456	1,456
利益剰余金	6,065	5,728
自己株式	△330	△330
株主資本合計	8,708	8,371
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3	6
評価・換算差額等合計	3	6
純資産合計	8,711	8,377
負債純資産合計	12,409	11,241

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	3,404	3,428
売上原価	2,126	2,093
売上総利益	1,278	1,334
販売費及び一般管理費	969	967
営業利益	309	367
営業外収益		
受取賃貸料	0	0
貸倒引当金戻入額	—	1
その他	1	1
営業外収益合計	1	4
営業外費用		
支払利息	0	0
コミットメントフィー	0	—
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	310	371
特別利益		
ポイント引当金戻入額	25	—
その他	2	—
特別利益合計	27	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	24	—
その他	5	—
特別損失合計	29	—
税引前四半期純利益	308	371
法人税、住民税及び事業税	110	126
法人税等調整額	30	31
法人税等合計	140	157
四半期純利益	167	213

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	308	371
減価償却費	138	128
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△26	14
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	24	—
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	430	319
たな卸資産の増減額(△は増加)	132	100
仕入債務の増減額(△は減少)	△914	△866
その他	83	332
小計	176	400
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△0	△0
補助金の受取額	103	76
法人税等の支払額	△388	△539
営業活動によるキャッシュ・フロー	△107	△62
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1	△0
無形固定資産の取得による支出	△102	△74
定期預金の払戻による収入	200	—
その他	22	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	119	△76
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△505	△502
その他	△1	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△507	△509
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△495	△648
現金及び現金同等物の期首残高	4,192	5,782
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,696	5,133

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。